

令和2年 第4回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内小中学校の学校行事について

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内小中学校の学校行事について申し上げます。

小学校においては、児童や保護者の接触や密集などに配慮し、実施内容を工夫しながら感染防止対策を講じたうえで、運動会については学年を分散して、体育参観日を含め10月上旬までに各学校で実施いたしました。学芸発表会については、保護者の参観による公開は行わず、児童の成長を表現する場を設けるなど各学校で創意工夫しながら、10月下旬より実施しております。

また、中学校においても、実施内容を工夫し感染防止対策を講じながら、体育祭や文化祭を9月より各学校で実施しております。

小中学校の修学旅行や宿泊学習については、健康観察の徹底やバスの増便など、旅行業者や宿泊先とも連携して感染防止対策を講じたうえで、8月下旬より各学校で実施しております。

引き続き感染状況を注視しながら、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、教育活動を進めて参ります。

学校教育施設の整備について

次に、学校教育施設の整備について申し上げます。

防音機能復旧事業として、柏陽中学校及び恵み野中学校の校舎と講堂のアスベスト含有煙突用断熱材の除去工事を行いました。さらに、柏陽中学校では、暖房機更新工事もあわせて行い、終了したところであります。

また、建物の長寿命化を図るための予防的改修工事として、恵み野旭小学校増築校舎及び講堂の屋上防水改修工事を昨年の本校舎に引き続き

行い、終了したところであります。

今後も引き続き、安全安心な学校環境の整備に努めて参ります。

地区会館等の整備
について

次に、地区会館等の整備について申し上げます。

今年度予定していた中島会館の外壁改修工事を行い、終了したところであります。

長寿大学の開学に
ついて

次に、長寿大学の開学について申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開学を見合わせておりました恵庭市長寿大学及び大学院におきまして、学習日1回あたりの定員を減らし複数での開催とすることや、あらゆる感染対策について検討を重ね、9月より開学いたしました。

開学時の学生数は196人と4月時点の216人と比較すると20人減少したものの、いずれの学習日もほぼ定員に近い学生が熱心に学び、長寿大学への期待の表れを肌で感じているところであります。

今後も感染防止対策を徹底しながら、学生の皆さんが安心・安全に学ぶことが出来るよう大学運営を実施して参ります。

「少年の主張」中学
校大会について

次に、「少年の主張」中学校大会について申し上げます。

毎年、市内の中学校を会場に実施しております恵庭市「少年の主張」中学校大会であります。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催校での実施に代わり、各校の代表生徒の作文を書面にて審査を行い最優秀賞及び優秀賞を決定いたしました。また、表彰は10月5日から20日にかけて各校を訪問し、校長室で表彰状を贈呈したところであります。

それぞれの作文は秋の青少年育成強調月間パンフレットに全文を掲載し、11月中に市内の小中高校や青少年関係団体へお届けし、多くの方々

に読んでいただくこととしております。

恵庭子ども塾について

次に、恵庭子ども塾について申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業実施を見送ってまいりました恵庭子ども塾ですが、北海道文教大学及び市内若手農業者の恵庭ルーキーズカンパニーとの共催事業による「えにわ大好き！食の体験ランド」を10月18日に開催いたしました。

今回は感染防止対策として、調理体験に使用する食材の他、カボチャを使ったジャック・オー・ランタンの作成キットやイチゴの栽培キットを前日に参加者に配布いたしました。また、当日は参加した7組の小学生のそれぞれの自宅と会場の文教大学を通信アプリを使用してオンラインで繋げ、文教大学生が調理実習室から中継して恵庭産のカボチャやベーコンを使ったグラタンの作り方を教え、出来上がったグラタンを児童と学生がそれぞれの場所で同時に試食いたしました。また、食材を提供してくれた農場や養豚場について、事前に撮影した動画で紹介いたしました。

参加した児童から、スマホを通してリアルタイムで感想等を聞くことが出来たことから、他の事業においても従来の形にとらわれることなく、コロナ禍における新たな事業展開について検討して参ります。

交流都市芸術祭について

次に、交流都市芸術祭について申し上げます。

本市の姉妹都市・山口県和木町や友好都市である静岡県藤枝市との合同による「交流都市芸術祭」を隔年で実施しており、本市においては昨年度開催予定であったものの、コロナ禍の影響により実施を見合わせてまいりましたが、今回新たな事業実施手法として、恵庭市文化協会のホームページ内のコーナーにおいて、各市町の書道、写真、絵画などの作品を発表することとし、10月2日より公開しているところであります。

今後の恵庭市開催におきましても、インターネットを活用するなど従来の形にとらわれない方法について検討し実施して参ります。

芸術文化宅配事業
について

次に、芸術文化宅配事業について申し上げます。

市内在住の芸術家による書道、写真、絵画、パッチワーク等の作品を、市内の企業や公共施設などに貸出し・展示する「えにわ芸術文化宅配事業」の新作展示発表会を例年10月に市民会館において開催して参りましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、恵庭市文化協会のホームページにおいて作品展を開催することとし、11月1日より公開いたしました。

作品の貸出申込についてもホームページ上で受け付け可能となったことから、教育委員会といたしましても、より多くの皆さまにご覧いただき展示場所に合った作品を選んでいただけるよう、今後も周知に努めて参ります。

文化功労者等表彰
について

次に、文化功労者等表彰について申し上げます。

本年度の文化功労者・青少年表彰につきましては、11月3日に市民会館においてスポーツ功労者も含めた合同表彰式を実施し、文化功労者に3個人、青少年表彰に2個人の方々を顕彰させていただきました。

読書活動の推進に
ついて

次に、読書活動の推進について申し上げます。

10月の人とまちを育む読書推進月間事業として、「図書館まつり」や「図書館開館24時」を開催しました。「図書館まつり」は、本館ギャラリーにて、これまでの「図書館まつり」を振り返る特別展示を行いました。「図書館開館24時」では、事前に整理券を配付する二部制で実施し、164名の方に参加していただき、夜の図書館を楽しんでいただきました。

また、第11回恵庭市小中学生調べる学習コンクールには、市内児童生徒から18点の応募があり、11月8日に表彰式を行なったところです。最優秀作品2点については、全国小中学生調べる学習コンクールに参加することとしております。

読書活動に係る研修事業について

次に、読書活動に係る研修事業について申し上げます。

10月24日に、家読推進事業として、また学校司書と司書教諭等の合同研修会を兼ねて、学校図書館活動推進協議会との共催で、家読(うちどく)講演会を実施しました。講師には、東北大学加齢医学研究所所長川島(かわしま)隆太(りゅうた)氏をお招きし、読書や睡眠、スマートフォンの使い方などの生活習慣が子どもの脳にどのように影響するのか、最新の脳科学の研究で解明されたデータをもとに講演いただき、138名の市民の方に参加いただいたところであります。

今後も図書館や学校図書館などにおいて、更なる読書活動の推進を図って参ります。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、9月19日から10月11日まで恵庭市と姉妹都市の締結をされてから12年を迎えるニュージーランド・ティマル市について写真で紹介する写真展「ティマル」を開催いたしました。また、10月24日から11月15日まで市制施行50周年記念事業として、恵庭が市になった昭和45年前後の恵庭の様子を収蔵資料で紹介する企画展「市になった頃の恵庭」を開催いたしました。

埋蔵文化財の保護について

次に、埋蔵文化財の保護について申し上げます

9月8日から9月29日まで、恵南の「ユカンボシE1遺跡」において、個人住宅建設に伴う発掘調査を行い、縄文時代の土器・石器など約

1, 000点の遺物が確認されました。今後、整理作業を行い、本年度中に発掘調査報告書を作成いたします。

また、埋蔵文化財保護と史跡整備への理解を深めていただく事業として、9月12日に開催した「遺跡見学会」では、北海道大学の構内を会場に12名の方々が参加し、考古学の先生の案内で遺跡群と博物館などを見学していただきました。

10月10日には「第7回カリンバまつり」を開催し、「君も縄文人になろう」をテーマに石器づくりや勾玉づくりに参加をいただき、縄文時代の体験活動を楽しんでいただいたところであります。

以上、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。